

福島県南相馬市

【テ - マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

道路等包括管理に関する導入検討

職員の減少や地域の担い手不足、住民要望の増加といった課題に対して、管理体制・管理水準の維持や補修箇所の早期発見・対応を目指した、官民連携における道路等を対象とした包括管理委託を視野に入れた導入検討をしたい。

①解決したい課題

【南相馬市概況】（令和5年度末現在）

- 人口：56,248人、面積398.58km²
- 市道延長：1,264km
- 橋梁数：556橋

（１）市がかかえる課題

①職員の減少

- ・市の職員は平成18年から、土木系技術職員は約20%、技能労務職員は約27%減少、高齢化が顕著

➡職員1人当たりの作業量増大

➡将来的に直営での維持管理が困難

《職員数の推移》

	平成18年	令和5年	増減
市職員数（行政職）	935人	905人	-3%減
うち土木系技術職員	59人	47人	-20%減
うち技能労務職員	11人	8人	-27%減

②地域の担い手不足

- ・地元建設業就業者の高齢化が進行

➡将来的にインフラ担い手が不足

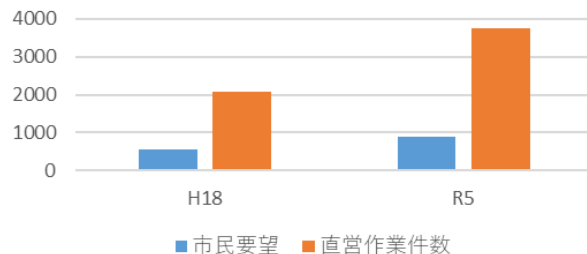
③住民要望の増加

- ・住民要望が増加している

➡現場確認作業の負担が大きい

➡苦情対応に忙殺し日常業務が滞る

《市民要望と直営作業件数》



④激甚化する災害

- ・災害の激甚化により、災害時のパトロールの重要性が増している

➡現場確認作業の負担が大きい

➡人員不足等により後手対応となっている

（２）解決したい課題

①管理体制・管理水準の維持

- ・土木系技術職員が減少・高齢化する中、市全域の施設管理を維持するための管理体制と管理水準が必要

②損傷箇所や異常箇所の早期発見・対応

- ・市で通報を受けた場合、通報～現場確認～事業者へ依頼といった一連のプロセスを見直し、迅速な対応の構築が必要

③財源不足

- ・今後人口減少等により財源の縮小が見込まれることから限られた財源での維持手法の検討が必要

④担い手の確保

- ・今後さらに増加する施設老朽化を踏まえ、インフラ施設管理における担い手確保（安定雇用）が必要

⑤持続的な維持管理体制の構築

- ・上記①～③を踏まえた、新たな体制の構築が必要

福島県南相馬市

道路等包括管理に関する導入検討

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

②課題解決の方向性等

（１）官民連携による道路等施設包括管理の導入検討

- ・職員の減少を民間事業者で補うことによる管理体制の充実と管理水準の維持
- ・事業者のノウハウを生かした現場対応
- ・広範囲においても対応可能な官民が連携した体制の構築
- ・限られた予算の中でも安心・安全なサービスの持続的な提供
- ・維持管理や災害対応に備えた担い手の確保
- ・上記項目を網羅した枠組み（管理委託方法）の構築

目指すべき将来像



インフラ維持管理の包括委託

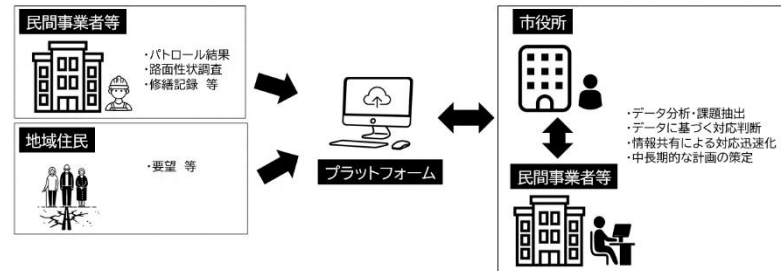
（巡回、除草・剪定、清掃、軽微な補修、橋梁点検・補修、災害対応等）

（２）道路維持管理におけるDXの推進

- ・維持管理の効率化を図るため、官民が情報を共有しデータを一元管理するプラットフォームの構築を検討

道路管理プラットフォームの構築・データの一元管理と情報共有

道路管理にかかわる様々なデータの分析・活用



③課題解決のイメージ・効果

- 【行政】業務の削減により、計画策定等に注力でき、インフラ管理の効率化が図れる
- 【民間事業者】一定の業務規模が確保されることで、雇用や設備投資が確保され経営が安定
- 【市民】迅速な対応により市民サービスが向上

その他

- ・令和7年度に導入検討に係る調査を実施、令和8年度に発注方法や発注範囲を定めた実施計画を作成、以降、段階的に範囲を拡大させながら包括管理委託を実施したいと考えている。